

久御山中央公園再整備検討委員会(令和4年度 第2回)

<議事概要>

日時	令和4年 10 月 14 日(金)18:00~20:25
場所	役場2期庁舎5階コンベンションホール
参加者	別紙の通り

No.	議 事
1	<p>アンケート調査結果について ⇒事務局から説明</p> <ul style="list-style-type: none"> 久御山中学校の生徒全員から回答頂いたということは、回答者 944 人のうち、10 代以下(357 人)のほとんどが久御山中学校の生徒ということか。 その通り。(事務局(久御山町)) 駐車場を新しく整備されたが、公園利用以外の利用者があるという意見があったが、どういった人が使われているのか。 推測にはなるが、町内には多くの企業があるため、ドライバーの休憩や打合せまでの時間の調整に使われていると考えている。(事務局(久御山町)) アンケートからランチや飲食、BBQ等のニーズがあるが、持ち込むのか、公園内で販売するのか、どういうイメージか。飲食は、2, 3年すると利用者が減るので難しいのではないか。 持ち込みか販売かはアンケート内で指定はしておらず、回答には両方の意見が含まれる。(事務局)
2	<p>再整備計画の基本的な方向性について ⇒事務局から説明</p> <ul style="list-style-type: none"> まちのにわ構想検討当時のことをお話する。アンケートからも飲食に関するニーズがあったが、飲食・軽食ができると、ゆっくりと過ごす居場所にできると考えている。どのような飲食機能があれば良いのかを考えた時に、チェーン店が入っただけでは町としてのメリットがあまりない。久御山町の農の資源や魅力を活かす窓口として、中央公園もクロスピアも使える。いわゆる地産地食になり、食を通じて久御山を知ることができる。こういったなかなかニーズとしては出てこないがまちづくりとしては重要であることにも着目する必要がある。一方で、必ずしも農の提供を公園の中でしなくても良い。周辺にいろいろあるので、公園と連携してシンボリック・ソフト的に扱えれば良いのではないかという話も議論の中ではあった。現在は社会実験として、公園内で農のイベントをする等、試行している。
3	<p>意見交換</p> <ul style="list-style-type: none"> 膨大な量のアンケートをまとめていただき良かった。中学生を中心とした若者に多く回答していただけたが、町の情報が若い世代に周知され、興味を持ってもらうことができているのか疑問に感じた。町が一生懸命取り組んでいること(まちのがっこう、KUMIDAN 等)を分かってもらえるように、情報伝達をする必要があると感じた。アンケートなので、様々な要望が出てくるが、全てを聞くのではなく、実際に

No.	議 事
	<p>使うかどうか吟味する必要がある。町の活動に参加しているのは、高齢者の 10 分の 1 程度だと感じる。残る 10 分の 9 はそれぞれで活動されており、取り込んでいく必要があるのではないかと。要望として、あれば良いものがアンケート結果に出てくるが、使ってもらえるようにしなければならない。ハーフビルドと言う考え方には賛成する。</p> <ul style="list-style-type: none"> • KUMIDAN 等の活動を知っている人と知らない人でアンケート結果に傾向があるか、補足的に見られると良い。 • 町の人が使いたくなる公園にするのか、現状の利用者が使い易い公園にするのか、方向性に悩んでいる。自身はスポーツをするためにグラウンドを利用することが多く、子どもが遊べる場所があると、子どもを連れていくことができると感じる。一方で、現状の利用者だけで良いのか悩ましい。駐車場で休憩されている方や、何かのついでに寄った方が、昼食をとる等、気軽に公園に入って休憩できると良い。 • リニューアル直後は利用が増えるだろうが、リニューアル後 10 年、20 年が経過しても飽きられずに使い続けてもらえる公園にする必要がある。まちのがっこう等の取組を続ける必要がある。 • ハーフビルドというキーワードが出たが、作り続け、活動し続けることが大切。 • 公園におけるルール作りに関して興味がある。他市に住んでいるが、公園は全てボール遊びが禁止で、家の前の道もボール遊びが禁止されている。ボール遊びをすることのデメリットもあるが、メリットもある。ルールは必要だが、作りすぎると使い勝手の悪い公園になってしまうので、バランスが非常に重要だと感じる。ルールは作り込みすぎず縛られすぎないバランスの良い使い易い公園になれば多くの人が利用する公園となる。 • 水路上部の活用は考えた方が良くと思う。荒見苑の活用については、現在の利用者で十分に利用し切れていない状況なのか。もっと有効活用すべきとは言え、荒見苑と縁のない公園利用者が休憩やトイレを利用するために次々に入ってくるとあまり良い印象を与えないかも知れない。出入口を分けたり、共有空間を明確にするなどエリア分けをし、荒見苑利用者に配慮する必要がある。エディブルガーデンについて、久御山町の野菜を活用することは理想ではあるが、アンケートで要望がないため、実際に作った時の利用が懸念される。公園にエディブルガーデンの機能を入れるのではなく、公園を起終点に見学・体験できればよい。以前された、農産物収穫体験ツアーには参加できなかったが、そういったイベントを通じて要望を把握できると良い。 • 荒見苑の利用状況について回答する。近年高齢者が増加しているにもかかわらず、シニアクラブの会員は増加していない。荒見苑での活動自体は活発であるが、特定の高齢者が利用されている。町としては、新たな層を取り入れたいが、既存の利用者への配慮は十分に行っていききたい。(事務局(久御山町)) • 「うちにわ＝まちづくりセンター」「そとにわ＝中央公園」の考え方が面白いと感じた。町民運動会に孫と参加した際に、役場に車を止めてから会場まで歩いたが、もっと道路につながりがあるとよいと感じた。都市下水路に遊歩道を作って、クロスピアまで繋げ、一体感のある町になれば良いなと夢を抱いている。まちのがっこうを主催する KUMIDAN 等の団体が活動的なので、そういった雰囲気大切に

No.	議 事
	<p>て、もっと多くの方が町の活性化に協力する町になると良い。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 都市下水路整備当時は「水と緑の回廊」という名前で整備された。現在は経年劣化で歩きにくい状況が見受けられるが、昨年度「歩くまち宣言」をしたこともあり、改修等を行う予定である。また、少し先にはなるが、役場から中央公園までの道路の整備をする予定である。(事務局(久御山町)) • 荒見苑は、再整備計画の対象となっているのか。KUMIDAN で様々な取組みをしているが、現在荒見苑とは何も関係を持っていない状況。荒見苑をハブとして、野菜の直売をしてみたり、各農地に移動して農業体験ができたりすれば良いのではないかと。各地点で完結するのではなく、中央公園からクロスピアなどの周辺拠点とのネットワークができると良い。 • 荒見苑は公園敷地内にある高齢者福祉施設であり、公園再整備の対象としている。高齢者福祉施設であることは変わらないが、多世代交流の考え方のもと、新たな利用をして交流を生んでいきたい。(事務局(久御山町)) • 昨年度「歩くまち宣言」をしているが、1周年記念イベントとして中央公園を発着の起点として町内の直売所をめぐる企画をしている。他にも、芋ほりや寄せ植え等もあり、中央公園を起点とした活動に取り組みつづける。(事務局(久御山町)) • 「ごちゃまぜのまちづくり」がトレンドであるので、慣れないこともあると思うが、用途を限らない公園の利用を考えていきたい。 • アンケートで用事の無い人が公園を利用していないことが分かったが、どのような方法で足を運びたくなるような雰囲気を作るかを考えていく必要がある。公園を見渡せるようにし、公園に用事の無い人も立ち寄りやすくなるような活動があると良い。スポーツを中心とした公園づくりをしていただきたい。お金をかけなくても使い易い公園を考えていきたい。 • 中央公園の再整備において、荒見苑の利用は必須と考えるが、現利用者への配慮は重要。中央公園の再整備により朝から晩まで人が集まるようになると、事故の危険性も上がってしまう。そこで、荒見苑が注意喚起の発信源になると良いのではないかと。また、高齢者は人をよく見ていらっしやるので、荒見苑から子どもを中心とした利用者の見守りをしやすいようになると良い。中央公園の駐車場だけを使っている方は、今後、中央公園の利用者にもなり得る。このような人を取り込む工夫をしていきたい。 • アンケートから分かったニーズがあるが、アンケートからは出てこない、まちづくりとして効果的なものと考えていくことが大切だと感じた。今のニーズを反映させているだけでは、数年後には飽きられる原因となる。公共性をいかに担保するかが重要。例えばグラウンドを利用している町内のスポーツ少年団で強いチームには、町外の子どもが所属していることもある。中央公園は国道1号線に近いので、人さらいの危険があり、対策をする必要がある。役場から中央公園に行く際には一箇所見通しの悪い曲がり角がある。人を集めるのであれば、安全に人がアクセスできるような道路・水路にする必要がある。アンケート結果で10代が夜間の利用に対するニーズが高かったが、夜間利用で何を求めているのか。コンビニでたむろするような印象で、あまり良いイメージがない。快適なことが必ずしも健康的とはならないことを留意する必要がある。

No.	議 事
	<ul style="list-style-type: none"> • 近年関係人口を増やすための取組みが活性化しており、町外の利用についても検討する必要がある。 • 中央公園へのアクセスが良くなれば、お子さんがいる親は助かると思う。荒見苑が建替えまでされるのであれば、1階に乳児のスペースができると良いと思った。必ずしも遊具が無くて、砂場や水があるだけでも、子どもたちが楽しく遊べると思う。 • 委員の皆さんの熱い思いが続けば、公園再整備は成功すると思う。第三者的な立場から4点ほど申し上げる。1つ目はニーズの把握について、潜在ニーズと顕在ニーズを分けて考えることが重要だと思う。顕在ニーズとしては、ヘビーユーザー(週1回以上利用する人)の意見を一番汲み取る必要がある。今、週1回以上利用されている方は、再整備後も必ず使ってくれる。一方で、今のニーズに合わせるだけでは良くない。新たな利用者が生まれ、利用者のニーズのレベルが上がっていくと良い。将来のニーズは、これからも町内に住み続ける中学生のニーズかもしれないし、これから町内に移り住むまだ見ぬ町民のニーズかもしれない。企業へのサウンディングにおいても、現在企業が持っている意見を聞いてそれにアジャストしても進歩がなく、将来ニーズにつながるようなサウンディングをしないと意味がない。現在のニーズを気にしすぎないほうがよい。2つ目は、アクティビティファーストで考えていきたい。コンセプトの次に空間設計があるが、コンセプトの次にはアクティビティを考えていきたい。新しいアクティビティが生まれ続け、育ち続ける公園になると良い。利用者を増やすことを目的にするのではなく、利用者の生活の満足度を高めることを目的にしてはどうか。その後、空間設計を検討すると良い。3点目は、シームレスで公園全体の一体感が大切という考えに賛成する。海外では、「サッカースタジアム」「ベースボールスタジアム」とは呼ばず「サッカーパーク」「ベースボールパーク」となっている公園が多い。スタンドもなだらかな丘になっており、公園とシームレスで一体的な使い方ができるような作りになっている。4点目は、公民連携の話がよく出てくるが、その次の住民連携が重要。企業と市民の連携がうまくいかない限り、トータルのマネジメントの相乗効果はない。町内外の住民連携は難しいところではあるが、周辺住民も含めて交流が生まれると良いと思う。全体として、方向性は共感する。 • 再整備の方向性(案)をみて、考え方は二つあると思った。一つは条件をしっかりと整理してその後のストーリーを公募の事業者に委ねるという方法。もう一つは、基本計画の中でストーリーを作って、民間事業者に提案をもらう方法。基本計画の中である程度仮説ストーリーを示したほうが、民間事業者の提案のレベルは上がるのではないかと。仮説を深く検討し、特徴的な基本計画としても良いのではないかと。 • 潜在ニーズの扱いについては今後検討していきたい。模型は、公園の将来を考えるワークショップで使用したもの。これまで出てきた意見を模型内に示している。アンケートには、自由記述で中央公園の再整備に活かせそうな得意なことを持った人の紹介をする設問もあり、23名もの人が紹介されていた。このような方たちも巻き込んでいけると良い。公園を使っている人の意見を常に収集し、公園整備・公園利用に展開し続けると良いと思う。(事務局)
4	今後の検討事項等について(企業へのプレサウンディング)

No.	議 事
	⇒事務局から説明
5	その他 ⇒事務局(久御山町)から説明

以 上